

緑政土木行政のあゆみ

名古屋市

緑政土木行政のあゆみ

名古屋市



「緑政土木行政のあゆみ」発刊によせて

このたび、名古屋市緑政土木局が25周年を迎えたことを記念し「緑政土木行政のあゆみ」を発刊する運びとなりました。

名古屋市の道路、公園、河川は、市域の約4分の1を占め、市民の皆様の生活の基盤となっています。緑政土木局は、道路、公園、河川、農地のインフラ整備、維持管理、利活用などを担っており、地震や風水害などの災害に強いまちづくりに努め、市民の皆様が安心、安全に生活できるよう取り組んでいます。

この記念誌は、私たちのまちの道路、公園、河川、農業の歴史を振り返り、未来への展望を示す貴重な資料となることでしょう。私たちの取組みが、市民の皆様の生活の質を向上させ、次世代に引き継がれる豊かな環境を築く一助となることを願ってやみません。

今後も、緑政土木局は、「住みやすい」「働きやすい」「訪れたい」「投資したい」都市の実現のため、市民、企業、大学、NPOなど多様な皆様と連携しながら、市民の皆様が誇りに思うような、より良いまちづくりに邁進してまいります。

引き続き皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年3月

名古屋市長 広沢 一郎



「緑政土木行政のあゆみ」発刊のことば

緑政土木局は、平成12年度に土木局と農政緑地局の合併により誕生し、令和6年度に25周年を迎えました。これを機に、これまでの軌跡を振り返る「緑政土木行政のあゆみ」を発刊することといたしました。

土木局誕生25年を記念して昭和58年11月に発行した「土木行政のあゆみ」を受け継ぐ形で、昭和58年度から令和4年度までの40年間、当局が行ってきた施策と事業の経緯や様々な知見、教訓を記しています。

緑政土木局の使命は、道路、河川、緑地、農業などの適切な社会基盤(インフラ)を、市民の皆様に提供することです。

インフラの量的な拡大を進めてきた時代が一段落した今、求められる機能や役割が変化しています。世の中が変容するスピードには目を見張るものがあり、現状維持ではなく積極的に新しい発想や技術を取り入れ、インフラを進化、成長させなければなりません。

その一方で、諸先輩方が築いてこられた資産の価値を改めて認識し、考え方や心構え、技術をしっかりと受け継ぐ必要があります。

次世代を担う職員が、土木局、農政緑地局、緑政土木局が積み重ねてきた施策と事業の歴史、経緯をしっかりと踏まえたうえで、未来を見据えた施策を講じていくことを願い、この「緑政土木行政のあゆみ」を編纂しています。

また、この冊子をお手に取ってくださったすべての方々に、少しでも緑政土木行政に携わる職員の熱意が伝わりましたら幸いです。

今後も、私たちは、過去や現在をしっかりと見つめ未来を見通し、職員一丸となって市民の皆様の期待に応える施策を推進してまいります。

引き続き、ご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

令和7年3月

名古屋市緑政土木局長 山田 好人

巻 頭 挨拶

名古屋市長挨拶	巻頭 1
名古屋市緑政土木局長挨拶	巻頭 2

目 次

第 1 章 道路事業のあゆみ

第 1 節 道路の建設	3
第 2 節 道路の維持	96
第 3 節 交通安全事業	108
第 4 節 自転車駐車対策・活用推進	135
第 5 節 道路の管理	177

第 2 章 河川事業のあゆみ

第 1 節 河川管理の歴史	211
第 2 節 河川・水路の整備の歴史	223
第 3 節 水環境改善の歴史	254
第 4 節 水防と災害の防止の歴史	262
第 5 節 堀川総合整備	278
第 6 節 市内河川、施設の歴史	299

第 3 章 農政事業のあゆみ

第 1 節 都市農業	325
第 2 節 農業委員会	327
第 3 節 農地の保全管理	331
第 4 節 農業振興対策	337
第 5 節 農業金融	351
第 6 節 ふれあい農業の推進	353
第 7 節 農業関連団体	359
第 8 節 農業公園の管理運営	361

第 4 章 緑地事業のあゆみ

第 1 節 緑に関する計画	369
第 2 節 公園事業	373
第 3 節 公園の管理	410
第 4 節 緑化の推進	424
第 5 節 街路樹の整備と維持管理	429
第 6 節 公園経営の推進	438

第 5 章 東山総合公園のあゆみ

東山動植物園のあらまし	447
平和公園のあらまし	449
第 1 節 東山動植物園	450
第 2 節 平和公園	496

第6章	災害復旧のあゆみ	
	あらまし	505
	第1節 災害復旧事業	512
	第2節 主な災害と対応	515
	第3節 主な被災地派遣と対応	534
	第4節 防災への取り組み	561
第7章	用地取得と測量業務のあゆみ	
	第1節 公共用地の取得	571
	第2節 公共用地の測量	595
第8章	技術管理のあゆみ	
	第1節 組織	611
	第2節 土木業界をとりまく環境の変化	612
	第3節 入札契約方法の変遷	617
	第4節 土木工事で使用する材料への社会的要請	619
	第5節 業務の電子化からDX推進への変遷	623
第9章	土木事務所のあゆみ	
	あらまし	641
	第1節 土木事務所の施設	641
	第2節 土木事務所の組織	642
	第3節 土木事務所の業務	646
資 料		
	1 組織	659
	2 定員	687
	3 予算決算	691
	4 道路事業	699
	5 河川事業	718
	6 農政事業	730
	7 緑地事業	733
	8 東山総合公園事業	737
	9 技術管理	741
年 表		
	昭和58年度	746
	平成元年度	758
	平成31年(令和元年)度	818

※本書は、令和4年度末までの名古屋市における緑政土木行政を記録したものです。「現在」、「現行」等は、原則として令和4年度を示します。